

## 神戸一中、県一高女の跡

令和5年8月24日

夏休みのある日、県庁へ行く途中に生田川を渡ったあたりで、一中の跡地はどこかなと思い、車を止めて散策することにしました。私は創立記念式典の式辞で「明治29年に生田川河畔に開校されました兵庫県神戸尋常中学校、後の兵庫県立第一神戸中学校」と話していますが、これまで現地を確認していませんでした。生田川沿いを北に歩くと、二宮児童館横に「神戸一中の蹟」の石碑がありました。またその近くには、一中にあったクスノキが泰然自若とそびえ立っていました。この風景とこれまで白黒写真で見た一中の建物や当時の生徒の様子とを重ね合わせると、何やら当時の音も聞こえてきそうでした。



そして、もう1つの本校の前身である県一高女。県一高女は現在の県庁1号館にありました。県立高女から県立神戸高女、そして県立第一神戸高女と変遷しますが、その間日本の女子教育のパイオニアとして存在しました。そのため、昭和天皇のご幸行や皇族の方々のご来校、インドの詩聖タゴールや孫文夫妻の講演などが行われました。特に、1924年に行われた「中国革命の父」である孫文の講演は、「大アジア主義」として記録されています。県庁1号館北東には、「兵庫県立第一神戸高等女学校蹟」と「大アジア主義講演会の地」の石碑が並んでいます。県庁庁舎の取り壊しが決まっていますが、この石碑の行方が気になります。

